

第1回（1-3月期）

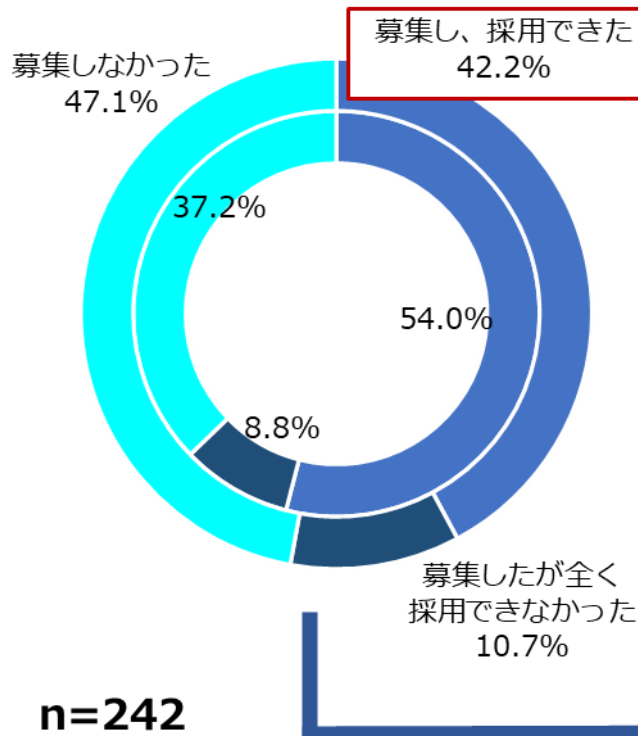
川口商工会議所クローズアップ 市内景況調査

2024年5月 川口商工会議所

【トピックス】 2023年度の採用実績の動向

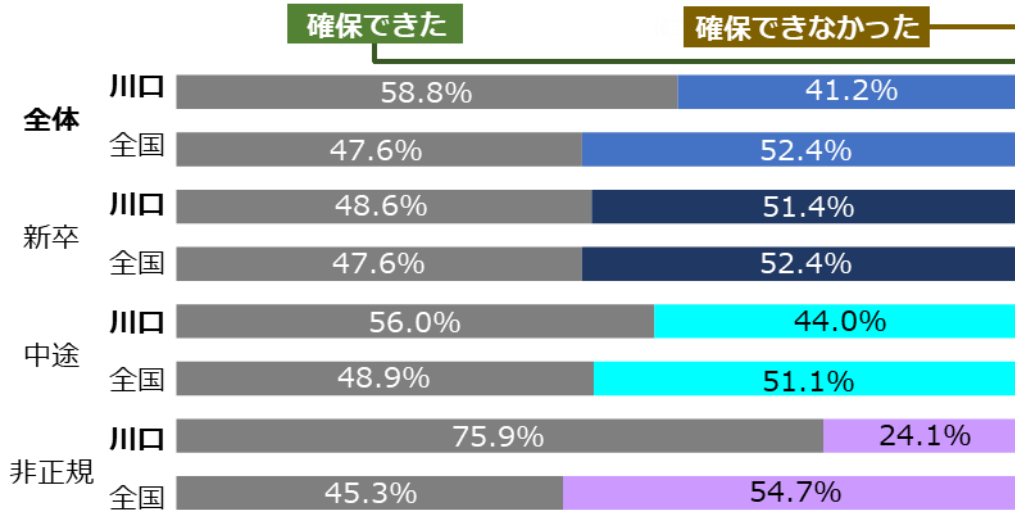
①2023年度の採用実績の動向

■外円：川口2023年度、内円：全国2023年度



②採用人数の充足状況

■全国2022年度（下）との比較 ※全国2023年度は未調査のため



④「確保できなかった」今後の対応

※複数回答

項目	件数
人材を確保できるまで採用活動を続ける	39
デジタル化や機械の導入など生産性を高める方策の導入を検討する	11
その他・未回答	3

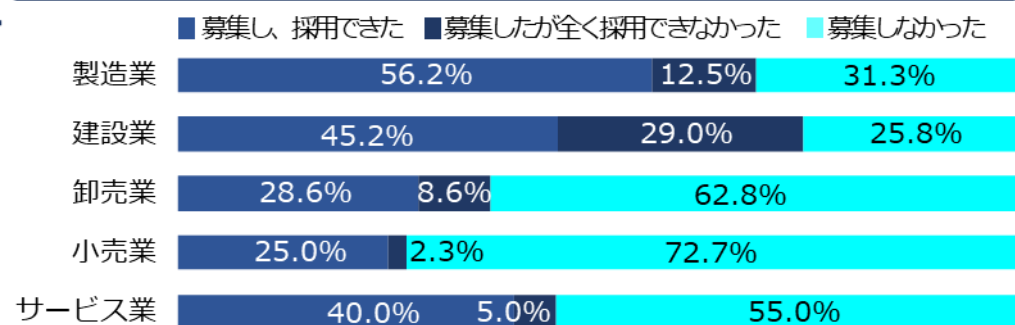
⑤「確保できた」使用している媒体

※複数回答

項目	件数
ハローワーク	34
民間の人材紹介サイト	32
知人の紹介	13
人材派遣会社	9
商工会議所の求人情報ページへの掲載	2
ポスター	2
ホームページ	2
その他	4

※その他（Google広告、チラシポスティング、技能実習生、東商人材採用支援サービス）

③2023年度の採用実績の動向（業種別）



考察

- ①2023年度の募集企業は、「募集し、採用できた」「募集したが全く採用できなかった」を合わせた**52.9%**となり、半数を超えた。「募集し、採用できた」は42.2%で、全国2023年度より低い値となっている。
- ②「募集し、採用できた」企業における充足状況は、**予定した人数を確保できた企業は58.8%**となっている。内訳は、新卒者は48.6%、中途者は56.0%、非正規者は75.9%で、**新卒者の確保が最もハードルが高い**。
- ③人手不足感の強い**建設業と製造業は約7割が募集したが、建設業では採用できなかった企業が29.0%と多い**。
- ④予定人数を確保できなかった企業では、今後も採用活動を続けるとの回答が多い。一方で思うように必要人数を充足できない状況を背景に、採用活動と並行して生産性向上を高める方策の導入を検討する企業も多い。
- ⑤予定人数を確保した企業では、ハローワークに加え、民間の人材紹介サイトなど**複数媒体の併用**が目立つ。

【景況感】 ◆全業種の業況（前期(10-12月)-今期(1-3月)-先行き(4-6月)）

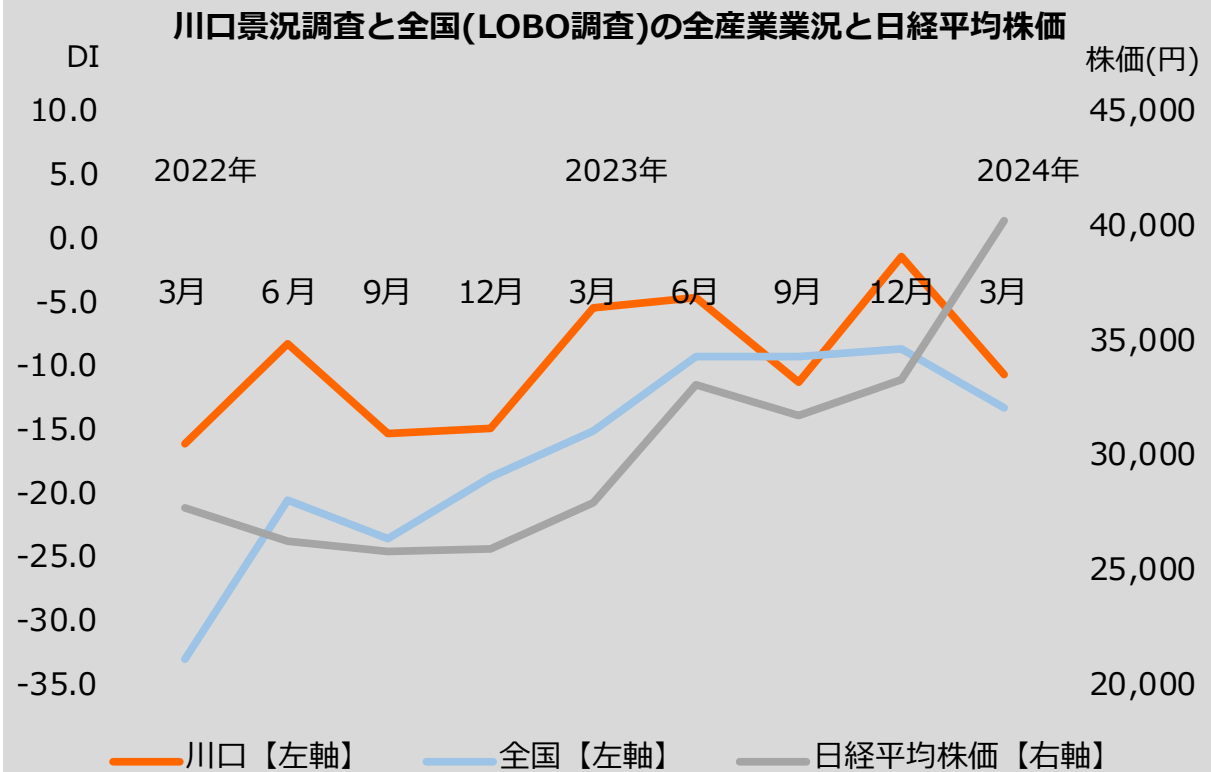
業況は、売上高減少と採算悪化の影響で悪化
先行きは消費者の買い控え等で悪化傾向が強まる見方

●全産業合計の業況は▲10.3（前期比▲9.2ポイント）

- 全産業で業況は悪化または現状維持となっている。業種を問わず、円安や人件費の上昇に伴う資材高騰や輸送費上昇の負担が大きく、これに加え防衛的賃上げが重荷となっており採算が悪化している。
- 製造業や卸売業では価格転嫁が進んだところも多く売上高は比較的順調だが、採算悪化が響き業況は悪化。小売業では物価高に伴う消費者の買い控えの影響で売上高が減少に転じたことが、業況の悪化につながっている。サービス業は買い物客や行楽需要の回復等の影響で売上高の増加傾向は続いているものの、買い控えの影響から減速となり、業況は現状維持にとどまる。建設業では住宅関係を中心に民間工事が不振で売上高が減少に転じ、外注費の高騰の負担も大きく、採算が悪化。深刻な人手不足も続いている。

●先行き見通しは▲17.8（今期比▲7.5ポイント）

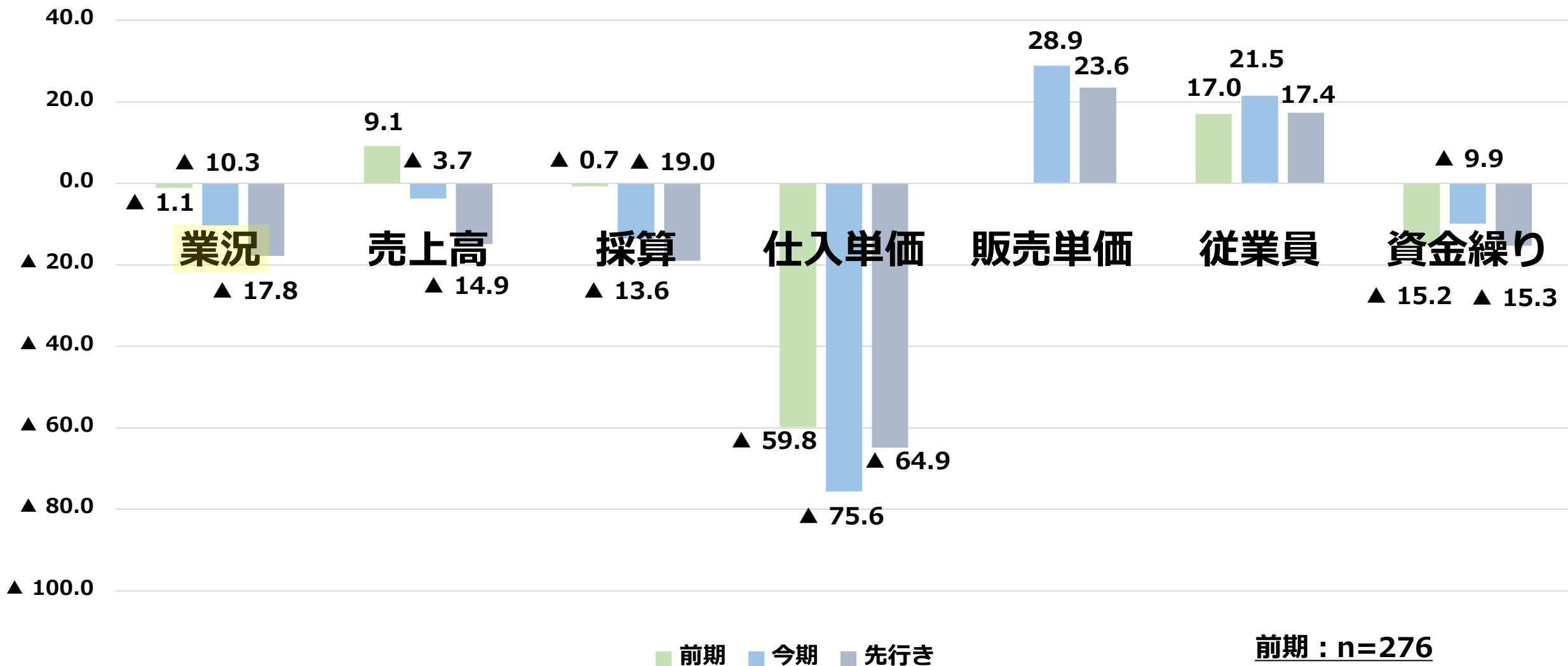
- 全産業で業況は悪化の見通しとなっており、消費者の買い控えの影響が広範囲に広がり、全産業で売上高は減少の見通し。さらに円安や資材高騰も先が見えず、全産業で採算も悪化の見通し。
- ゴールデンウィークの買い物客や行楽需要を期待したサービス業等でも、旅行は「安近短」が主流になるなど買い控えの影響を強く受けており売上高が減少に転じる。4月以降は働き方改革関連法の施行に伴う輸送費の上昇も懸念され、不安材料となっている。
- 輸入を主力とする卸売業では歴史的な円安の強い影響を受けている一方で、輸出を主力とする製造業では国際情勢が不安定となっているため輸出が困難になる国が出てきているとの声が聞かれた。



業況DI（※DI=「好転」の回答割合-「悪化」の回答割合）

	2022年				2023年				2024年	先行き見通し
	3月	6月	9月	12月	3月	6月	9月	12月	3月	
全産業	▲ 15.8	▲ 7.9	▲ 15.0	▲ 14.6	▲ 5.1	▲ 4.4	▲ 11.0	▲ 1.1	▲ 10.3	▲ 17.8
製造	6.9	0.0	▲ 28.0	▲ 10.0	1.9	▲ 2.9	▲ 4.0	▲ 5.7	▲ 2.5	▲ 16.3
建設	9.1	9.1	0.0	▲ 31.6	▲ 11.1	▲ 2.5	▲ 7.3	5.4	▲ 6.5	▲ 12.9
卸売・小売・飲食	▲ 45.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-
卸売・小売	-	▲ 35.7	▲ 26.9	▲ 28.0	▲ 19.5	▲ 17.9	▲ 15.2	0.0	-	-
卸売	-	-	-	-	-	-	-	-	▲ 20.0	▲ 22.9
小売	-	-	-	-	-	-	-	-	▲ 22.7	▲ 27.3
飲食	-	▲ 28.1	▲ 30.0	▲ 28.1	▲ 18.2	66.7	▲ 20.0	5.0	-	-
サービス	▲ 28.1	▲ 9.5	3.4	4.5	0.0	▲ 2.6	▲ 17.4	▲ 5.0	0.0	▲ 5.0

【景況感】 ◆全産業の動向（前期(10-12月)-今期(1-3月)-先行き(4-6月)）



前期：n=276
今期・先行き：n=242

考察

- ・ 業況は、今期は売上高減少と採算悪化の影響が大きいいため悪化し、先行きは悪化傾向が強まる見通しである。
- ・ 売上高は、今期は消費者の買い控え等の影響で減少しており、先行きは減少傾向が強まる見通しである。
- ・ 採算は、今期は仕入単価の上昇と賃上げ等の影響で悪化しており、先行きも悪化が続く見通しである。
- ・ 仕入単価は、今期は円安や資材高騰等の影響で上昇しているが、先行きは上昇傾向が落ち着く見通しである。
- ・ 販売単価は、今期は物価高に伴う価格転嫁が進み上昇しているが、先行きは上昇傾向が落ち着く見通しである。
- ・ 従業員は、今期は繁忙期のところも多く人手不足感が広がったが、先行きは人手不足感が落ち着く見通しである。
- ・ 資金繰りは、今期は悪化傾向がやや鈍るが、先行きは再び悪化傾向が強まる見通しである。

【景況感】 ◆業種別の業況（前期(10-12月)-今期(1-3月)-先行き(4-6月)）



製造業

（今期）業況は悪化している。売上高は価格転嫁による販売単価の上昇もあり安定しているものの人材確保に向けた賃上げ、円安や資材高騰による仕入単価の上昇により採算は悪化している。
（先行き）業況は悪化傾向が強まる見通し。売上高は設備投資減退や在庫調整の懸念で悪化に転じ円安や資材高騰も先が見えず採算は悪化。さらに不安定な国際情勢が、輸出に暗い影を落とす。



建設業

（今期）業況は悪化している。売上高は住宅関係を中心に民間工事が不振で減少に転じ、外注費や資材の高騰により仕入単価の上昇傾向が続くことで採算は悪化。人手不足も深刻な状況が続く。
（先行き）業況は悪化傾向が強まる見通し。売上高の不振は継続する一方で、人手不足に起因する時間外手当の増加や賃上げの影響で採算が悪化と予想。厳しい人手不足は出口が見えない状況。



卸売業

（今期）業況は悪化している。売上高は価格転嫁による販売単価の上昇で増加基調も、消費者の買い控えや在庫調整を招き減速。仕入単価は円安や輸送費高騰の影響で上昇し、採算は悪化。
（先行き）業況は悪化が続く見通し。売上高は、販売単価上昇が続いたため買い控えの広がり懸念から減少へ。円安や輸送費高騰の鎮静化を期待するも、売上高減少が響き採算は悪化を予想。



小売業

（今期）業況は悪化している。売上高は物価高に伴う消費者の買い控え等の影響で減少に転じた。仕入単価は引き続き上昇傾向が続き、賃上げの負担も大きいことから、採算も悪化している。
（先行き）業況は悪化傾向が強まる見通し。売上高は物価高の一服を期待するも買い控えの解消には至らず減少傾向が続く。仕入単価は落ち着くと予想も、賃上げの負担が大きく、採算は悪化。



サービス業

（今期）業況は現状維持。売上高はインバウンド・観光需要の回復等の影響で増加傾向が続くも、消費者の買い控え等で減速。仕入単価上昇や賃上げの影響もあり、採算が急速に悪化している。
（先行き）業況は悪化に転じる見通し。売上高はGWの旅行も「安近短」が主流になるなど消費者の買い控えが懸念され減少。仕入単価は高止まりしており、価格に転嫁するも採算悪化は継続。

【景況感】 ◆経営状況に関する具体的な声（主要なものを抜粋）



製造業

●やむを得ず賃上げしたものの、採算の悪化で赤字になる見込み ●協力会社の廃業で内製が増え社員の負担が増えている ●電話やDMでM&Aの案内が増えている ●得意先は価格転嫁を受けてくれるが、仕入単価の相次ぐ上昇、最低賃金引上げ、昇給など価格転嫁が必要な機会が多く、すべて要求できずに自社負担が増えている ●国際情勢が不安定で、輸出が困難になる国が出ている



建設業

●人が集まらない一方で時間外手当の負担が増えて困っている ●高齢化による健康問題、能率低下による時間外手当増加、車輛の老朽化、事業承継…何から手を付けるか迷っている ●人手不足の一方で人工単価は上がりそう。単価が上がれば賃金も上げるつもり ●原材料費は高値安定するものと上昇が続くものがあり安定しない。材料の送料も無料は有料に、有料は値上がりしている



卸売業

●円安の影響で輸入品の仕入価格が高騰している ●原材料、資材、運送費、工賃などが上昇しているが、昨年8月に販売価格へ転嫁できた ●円安にも関わらずインバウンド客は増えず販売価格を上げられない。先行きが不安 ●相次ぐ値上げで顧客が「値上げ疲れ」していると感じており、今後安定した営業ができるか不安 ●報道されている大幅な賃上げは中小企業には無理



小売業

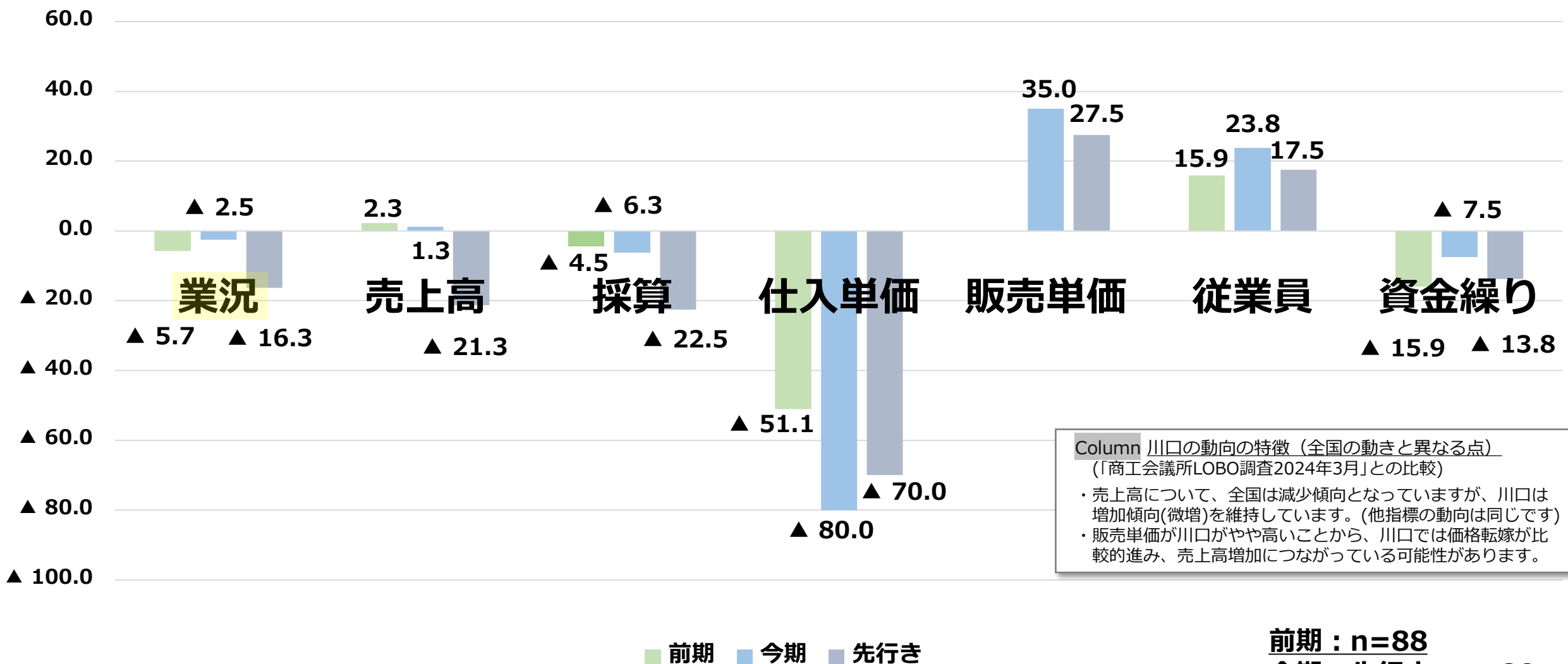
●物価高騰により、消費者の購買意欲の減退を感じる ●業績は好調だが、賃上げすると業績悪化時に負担になるため、ボーナスで調整している ●毎年最低賃金の上昇で賃金体系を見直しているため負担が大きい。「130万円の壁」がありパートのやりくりが大変 ●新卒採用をしたいが採用できない。やる気と情熱にあふれた人材が喉から手が出るほど欲しい ●インボイスの計算が面倒



サービス業

●仕事はあるが人手不足で生産性が上がらない。高齢化も進展し将来が不安 ●取引先が売上減少している影響で当社も下がっているように感じる ●原材料が高騰しているが販売価格変更躊躇しているため、薄利になっている ●薬価は国が決める上、毎年下がっているため、売上もじり貧 ●介護福祉業界は国が単価を決めるので、企業努力では賃上げできない

【景況感】 ◆製造業の動向（前期(10-12月)-今期(1-3月)-先行き(4-5月)）

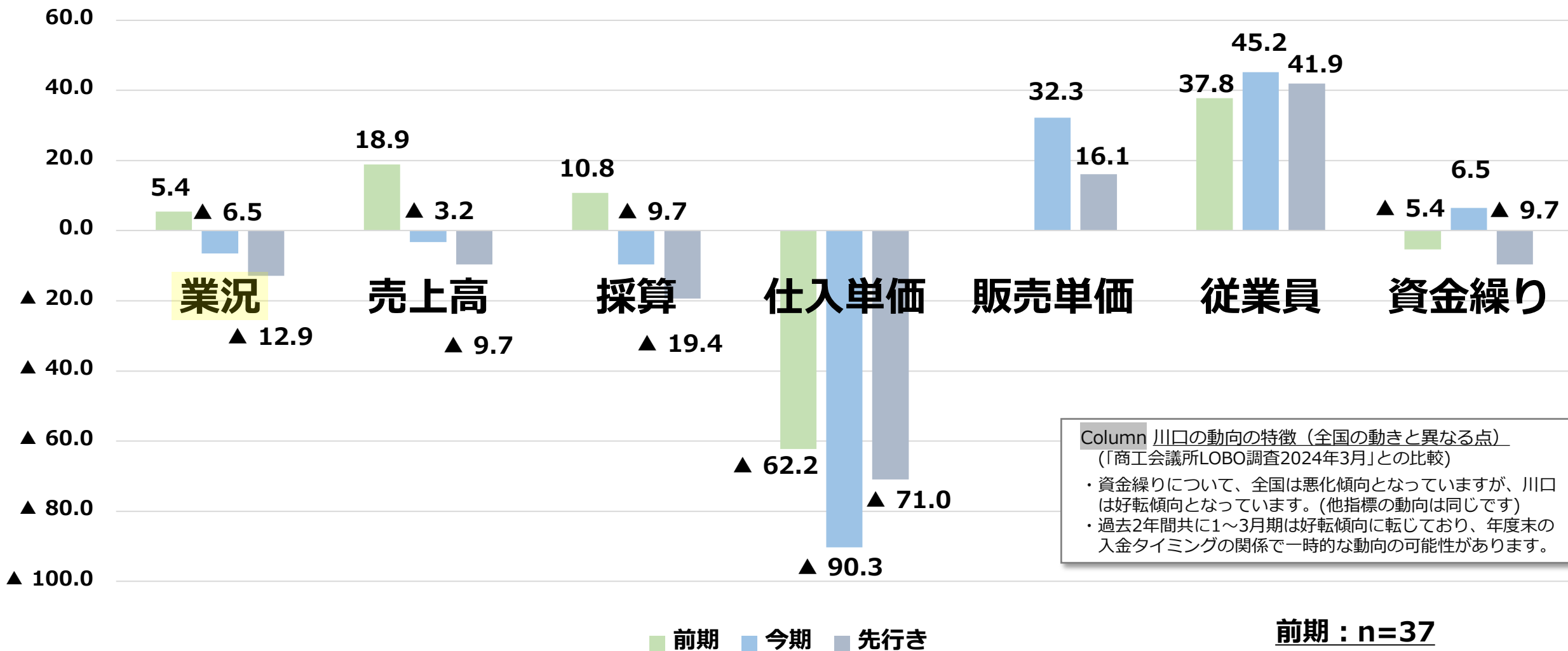


前期：n=88
今期・先行き：n=80

考察

- ・業況は、今期は引き続き悪化しており、先行きは売上高減少や採算悪化に伴い悪化傾向が強まる見通しである。
- ・売上高は、今期は価格転嫁が進行し安定しているが、先行きは悪材料が多く減少に転じる見通しである。
- ・採算は、今期は仕入単価の上昇で悪化しており、先行きは売上減少も加わって悪化傾向が強まる見通しである。
- ・仕入単価は、今期は円安や原材料高騰により上昇傾向が続くも、先行きは上昇傾向は落ち着く見通しである。
- ・販売単価は、今期は価格転嫁の進行で上昇傾向が強く、先行きは上昇傾向がやや落ち着く見通しである。
- ・従業員は、今期は人手不足感が進行し、先行きは人手不足感は根強いがやや落ち着く見通しである。
- ・資金繰りは、今期は悪化傾向が鈍っているが、先行きは再び悪化傾向が強まる見通しである。

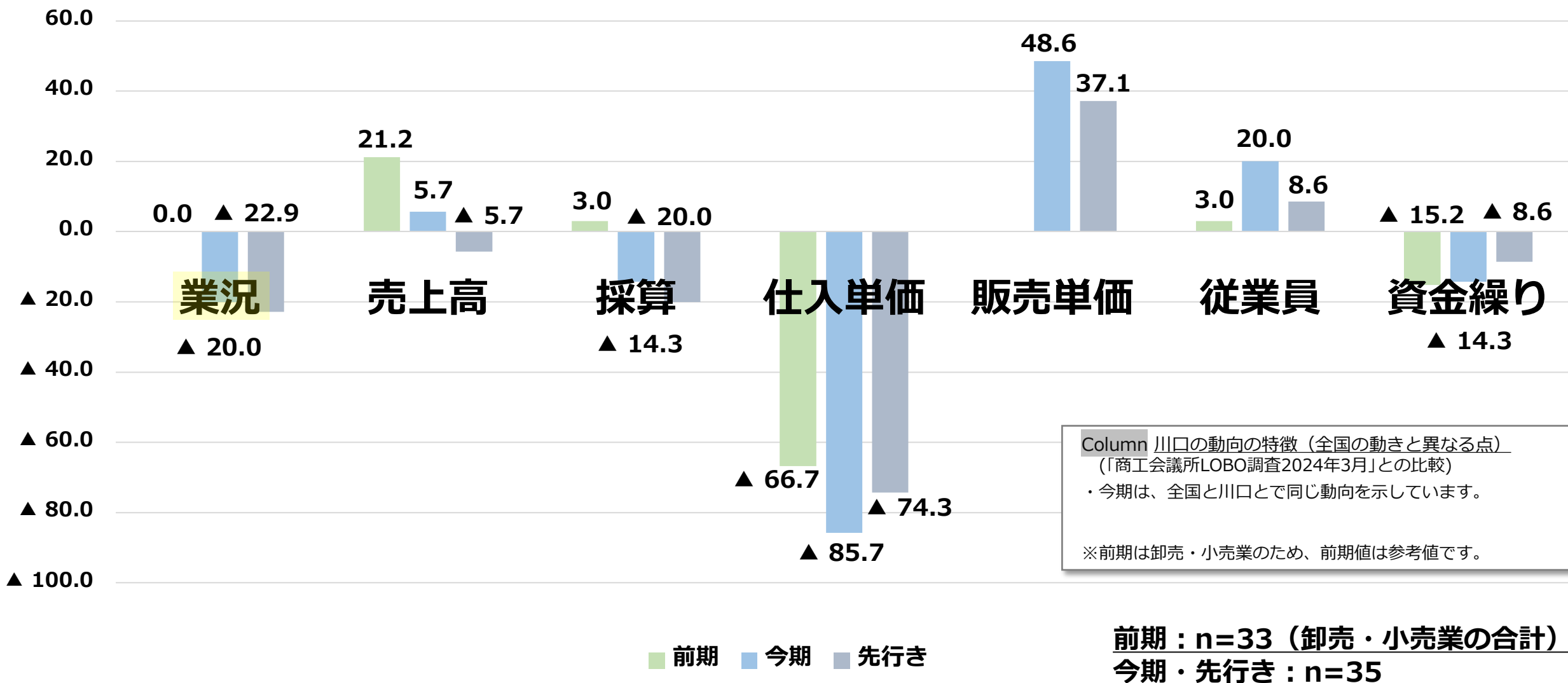
【景況感】 ◆建設業の動向（前期(10-12月)-今期(1-3月)-先行き(4-6月)）



考察

- ・業況は、今期は売上高や採算の悪化にともない悪化に転じ、先行きは悪化傾向がさらに強まる見通しである。
- ・売上高は、今期は民間工事が不振で減少に転じており、先行きは減少傾向がさらに強まる見通しである。
- ・採算は、今期は売上減少と仕入単価上昇の影響で悪化に転じ、先行きは悪化傾向がさらに強まる見通しである。
- ・仕入単価は、今期は外注費や資材の高騰で上昇傾向が続くも、先行きは上昇傾向はやや落ち着く見通しである。
- ・販売単価は、今期は価格転嫁の進行で上昇傾向が強く、先行きは上昇傾向がやや落ち着く見通しである。
- ・従業員は、今期は人手不足感がさらに進行し、先行きはやや落ち着くも厳しい人手不足感が続く見通しである。
- ・資金繰りは、今期は入金タイミング等で一時的に好転するも、先行きは再び悪化に転じる見通しである。

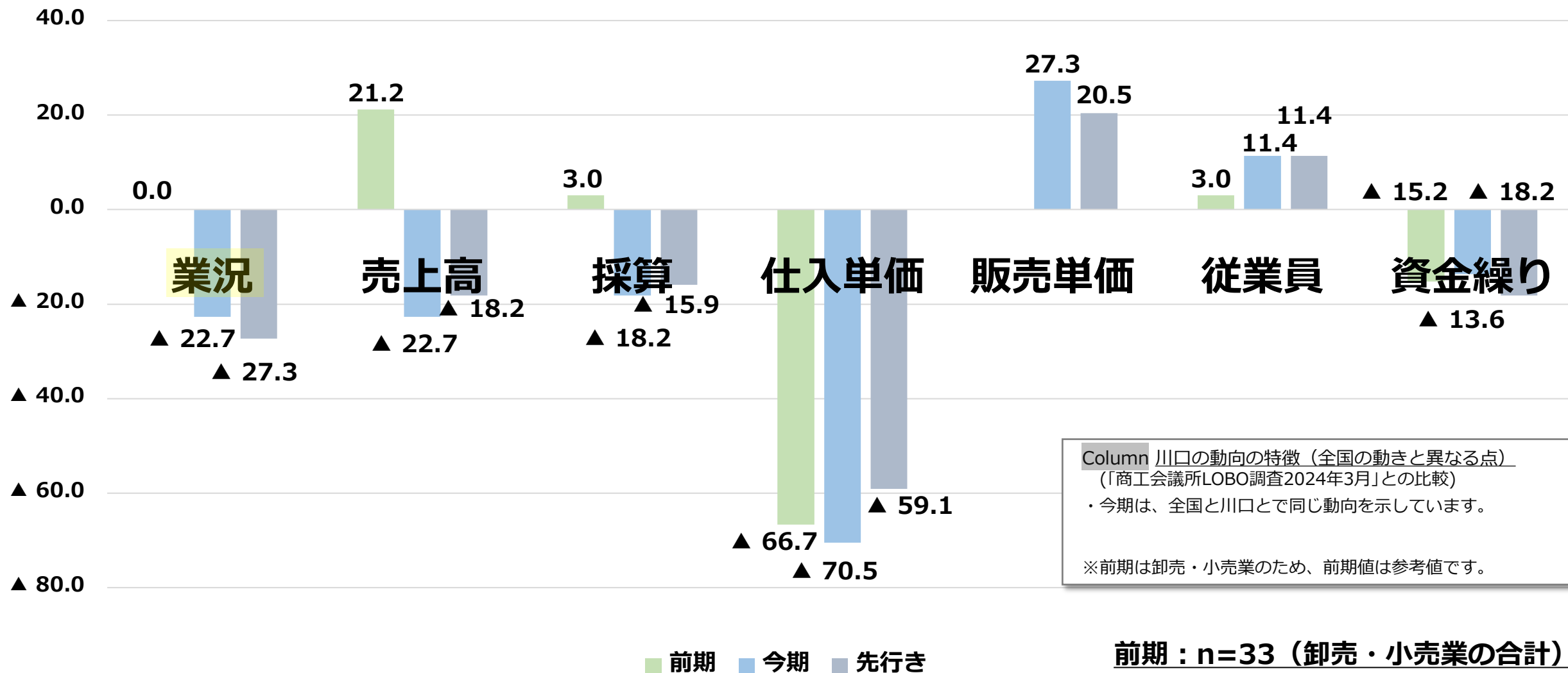
【景況感】 ◆卸売業の動向（前期(10-12月)-今期(1-3月)-先行き(4-6月)）



考察

- ・業況は、今期は売上高減速や採算悪化に伴い悪化に転じ、先行きは悪化傾向が続く見通しである。
- ・売上高は、今期は消費者の買い控えや在庫調整で増加傾向が減速し、先行きは減少に転じる見通しである。
- ・採算は、今期は売上高の減速や仕入単価の上昇に伴い悪化に転じ、先行きは悪化が進行する見通しである。
- ・仕入単価は、今期は円安や物価高騰等で上昇傾向は続くも、先行きは上昇傾向がやや落ち着く見通しである。
- ・販売単価は、今期は価格転嫁に伴い上昇傾向が強く、先行きは上昇傾向は弱まる見通しである。
- ・従業員は、今期は人手不足感が進行し、先行きは人手不足感は根強いが落ち着く見通しである。
- ・資金繰りは、今期は悪化傾向が継続し、先行きは悪化傾向が続くもやや鈍化する見通しである。

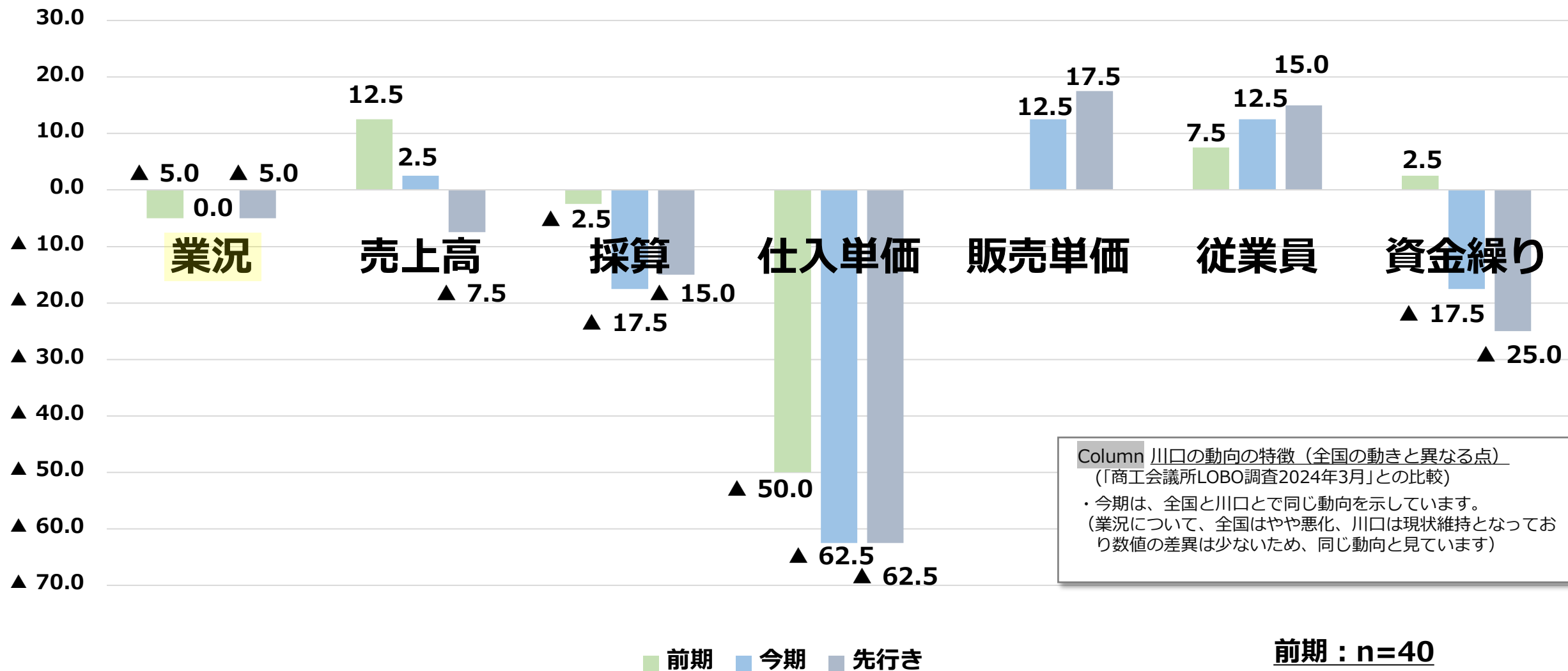
【景況感】 ◆小売業の動向（前期(10-12月)-今期(1-3月)-先行き(4-6月)）



考察

- ・業況は、今期は売上高や採算の悪化にともない悪化に転じ、先行きは悪化傾向が強まる見通しである。
- ・売上高は、今期は消費者の買い控えの影響で減少に転じ、先行きは減少傾向がやや鈍化する見通しである。
- ・採算は、今期は売上高の減少や仕入単価の上昇等で悪化に転じるが、先行きは悪化傾向が鈍化する見通しである。
- ・仕入単価は、今期は円安や物価高騰等で上昇傾向は続くも、先行きは上昇傾向が鈍る見通しである。
- ・販売単価は、今期は上昇傾向が強く、先行きは上昇傾向がやや弱まる見通しである。
- ・従業員は、今期・先行きともに、人手不足の傾向が継続する見通しである。
- ・資金繰りは、今期は悪化傾向がわずかに改善するも、先行きは再び悪化傾向がやや強まる見通しである。

【景況感】 ◆サービス業の動向（前期(10-12月)-今期(1-3月)-先行き(4-7月)）

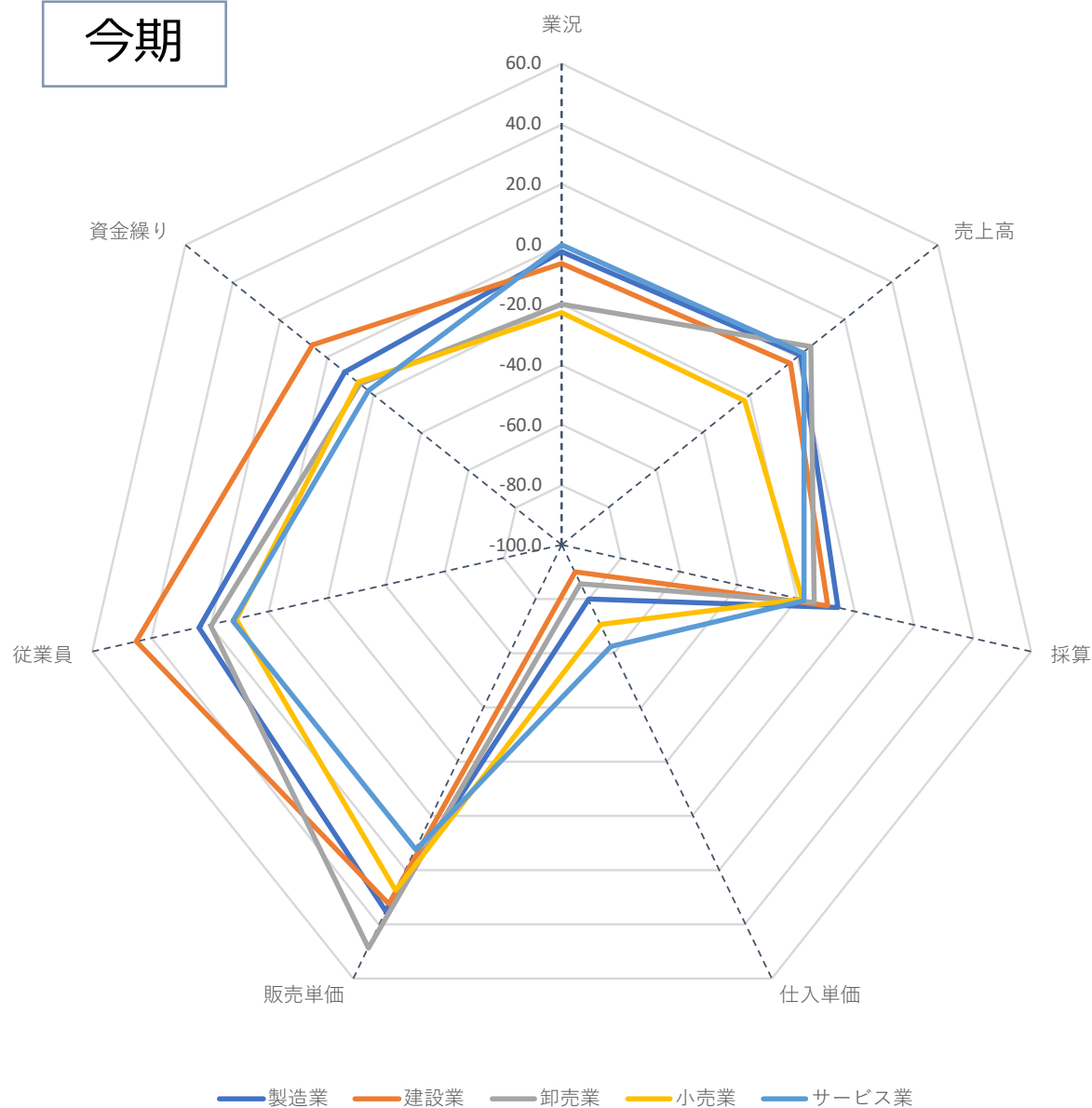


考察

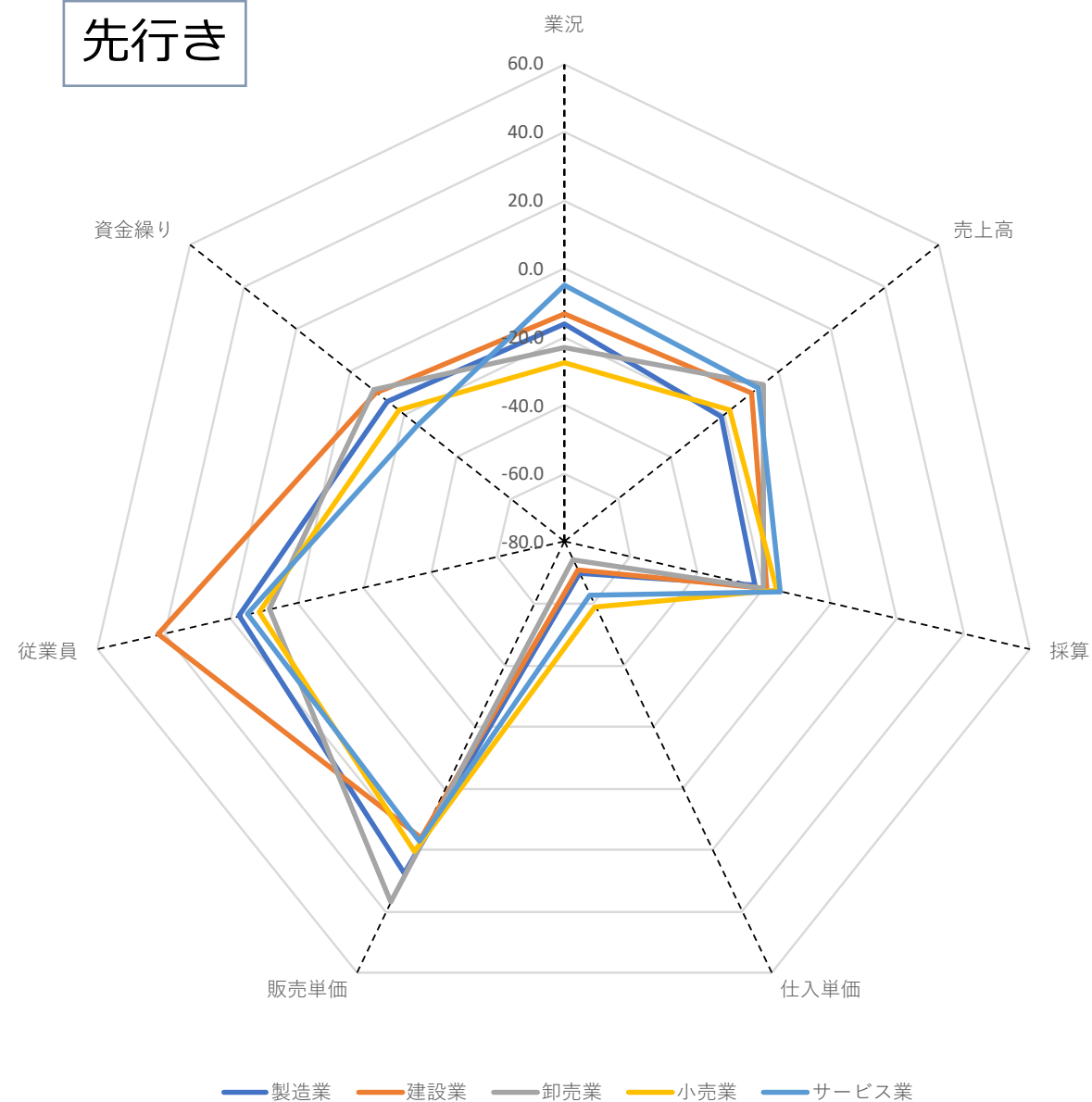
- ・業況は、今期は売上高増加と採算悪化で現状維持となったが、先行きは売上高減少で再び悪化の見通しである。
- ・売上高は、今期は消費者の買い控え等で増加傾向にブレーキがかかり、先行きは減少に転じる見込みである。
- ・採算は、今期は仕入単価上昇や賃上げで悪化傾向が強まるも、先行きは悪化傾向はやや鈍る見通しである。
- ・仕入単価は、今期は上昇傾向が強まり、先行きは上昇傾向が続く見通しである。
- ・販売単価は、今期・先行きともに少額の増加だが、価格転嫁の浸透で徐々に上昇傾向が強まる見通しである。
- ・従業員は、今期・先行きともに人手不足感が強まる見通しである。
- ・資金繰りは、今期・先行きともに悪化傾向が強まる見通しである。

【景況感】 ◆業種別の動向（まとめ）

今期



先行き



ゼロ(破線)を基準として、プラスの値(破線の外側)で上向き傾向を表す回答の割合が多いことを、マイナスの値(破線の内側)で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
※「従業員」のみ逆で、プラスの値で下向き傾向(不足)を、マイナスの値で上向き傾向(過剰)を示す。

【会員の声】 ◆行政や商工会議所へ望むこと

円安や原材料・物価の高騰がどこまで進行するのか先行きが見えづらい状況の中で、**環境変化に対応していくための情報提供**を求める声が増えている。また、適正な価格転嫁の後押しを求める声も目立っている。

カテゴリー		会員の声（一部抜粋）
商 工 会 議 所 へ の 要 望	研修・情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 経営に関する情報提供やセミナー開催などをお願いしたい（サービス業） ● 時代に合ったビジネスの転換を視野に入れているため、役に立つ情報が欲しい（製造業） ● 新規事業のヒントを提供してほしい。情報交換の場が欲しい（製造業） ● 法改正や環境変化に関する情報提供をお願いしたい（製造業） ● 円安対策に関する情報提供や販売先の紹介をお願いしたい（卸売業） ● 従業員へのリスクリング(業務に必要な知識の学び直し)の場や情報を提供してほしい（製造業） ● 健康経営に関するセミナーの定期開催等のサポートを充実してもらえると助かる（製造業） ● 地域のイベントに関する情報提供をお願いしたい（小売業）
	価格転嫁対策	<ul style="list-style-type: none"> ● 中堅・大企業は下請けからの価格転嫁を容認するよう、働きかけてほしい（製造業2件） ● 賃金、物価上昇に伴う販売価格の転嫁を消費者に浸透させるような、前向きな宣伝活動を希望する（サービス業） ● 中小企業が人件費、環境対策費、働き方改革に投資できるよう、適正な価格転嫁を後押ししてほしい（製造業）
	補助金・資金調達	<ul style="list-style-type: none"> ● 各補助金の申請手続きを支援してほしい（製造業） ● 助成金や助成金の詳しい内容について案内が欲しい（サービス業） ● 資金調達について支援してほしい（サービス業）
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 商工会議所のベテラン職員さんをもっと活用し、会員企業へのサポート強化をお願いしたい（製造業） ● 人材確保の支援よりも、生産性向上支援に力点を置くべきだと思う（サービス業） ● IT化への支援をお願いしたい（製造業） ● 短期アルバイトの斡旋をお願いしたい（小売業） ● 事業継続について考えていきたいので支援してほしい（不動産賃貸業） ● 地産地消の支援策を希望します（サービス業） ● 川口市民が携帯端末でポイントを貯めて使える仕組みを作ってほしい（サービス業） ● 介護福祉業が賃上げできるように行政へ政策提言してほしい（サービス業）
金融機関への要望		<ul style="list-style-type: none"> ● 無利息融資を希望する（サービス業）
行政への要望		<ul style="list-style-type: none"> ● 補助金を充実してほしい。申請手続きを簡単にしてほしい（サービス業2件、建設業） ● 設備投資を目的とする補助金活用より、雇用維持の助けとなる雇用調整助成金の基準緩和をお願いしたい（製造業） ● 他の自治体と連携して販路開拓に役立つような活動をお願いしたい（製造業） ● 円安への対策を切にお願いしたい（製造業） ● 物価高に対応した賃上げをできるよう、政府には相応の経済対策をお願いしたい（製造業） ● 経済対策を、民間(中小企業)に押し付けるのはやめてほしい（製造業） ● 人口減少の対策をお願いしたい。このままでは中小企業の経営環境は悪くなるばかりでは（製造業） ● "ゾンビ企業"への支援は慎重に進めてほしい（卸売業）

【参考資料】 ◆ 調査概要・回答者の状況

調査概要

調査期間：2024（令和6）年4月15日（月）～4月30日（火）

調査対象：会員事業所1,434件（FAX1,069件、メール365件） ⇒ 回答数：242件（回答率16.9%）

回答者の状況

◆ 属性

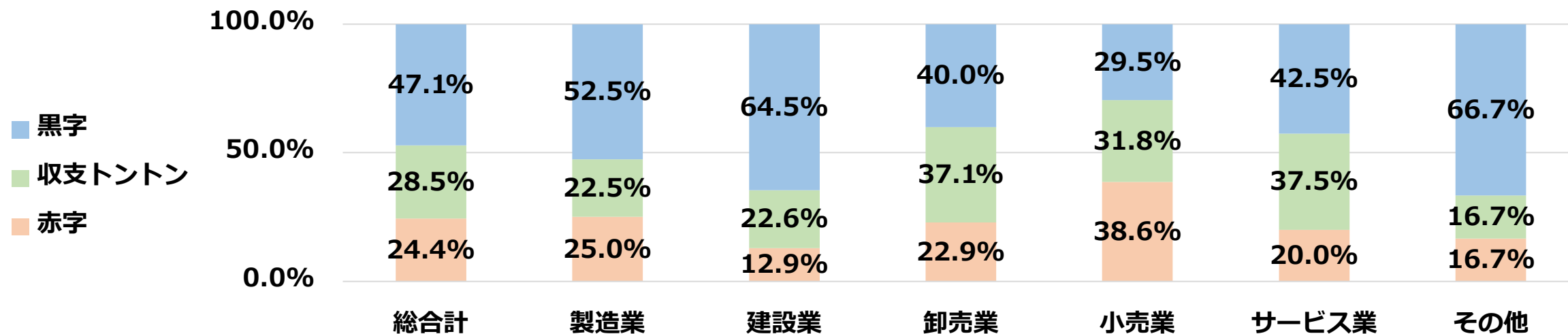
業種	実数	割合
製造業	80	33.0%
建設業	31	12.8%
卸売業	35	14.5%
小売業	44	18.2%
サービス業	40	16.5%
その他	12	5.0%
総計	242	100%

業歴	実数	割合
5年未満	8	3.3%
5～10年	11	4.5%
11～20年	35	14.5%
21～30年	25	10.3%
31～40年	163	67.4%
総計	242	100%

資本金	実数	割合	割合
個人事業主	28	11.570%	11.6%
500万円以下	59	24.380%	24.4%
500万円超～1千万円以下	78	32.231%	32.2%
1千万円超～3千万円以下	41	16.942%	17.0%
3千万円超～5千万円以下	14	5.785%	5.8%
5千万円超～1億円以下	17	7.025%	7.0%
1億円超	2	0.826%	0.8%
その他・未記入	3	1.240%	1.2%
総計	242	100%	100%

従業員数	実数	割合
0～5人	128	52.9%
6～20人	62	25.6%
21～50人	32	13.2%
51～100人	8	3.3%
101～300人	10	4.1%
301人以上	2	0.9%
総計	242	100%

◆ 収益状況（直近の決算）



【参考資料】 ◆第1回（1-3月期）川口商工会議所 クローズアップ市内景況調査 アンケート用紙

川口商工会議所 総合政策課 (FAX 048-228-2221)

第1回（1-3月期）川口商工会議所クローズアップ市内景況調査へのご協力をお願い
2024年4月17日

会員のみならず（必ずご回答くださいますようお願い申し上げます。）

日ごろより、本商工会議所の事業運営に、ご理解ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
当所では、市内企業の景況を調査するため、四半期に一度「リアルタイム景況調査」を実施しております。このたび、内容を一新し、第1回（1-3月期）調査を実施いたしますので、お忙しいところ、誠に恐縮ですが、該当部分にチェックのうえ、**4月30日（火）**までに、FAX またはアンケートフォーム（右 QR コード）にてご返信いただきますようお願いいたします。
皆様のご協力のもと、本調査結果につきましては、引き続き本市中小企業支援や行政への意見要望等の参考とさせていただきます。また、過去の調査結果につきましては、本商工会議所ホームページに掲載しておりますのでご参照ください。 川口商工会議所



----- アンケート調査票 -----

問1 貴社の状況についてお伺いします。(1)～(5)についてそれぞれ該当する番号をご回答ください。

(1) 業種 *複数業種の場合は売上比率の最も高い業種を1つお選びください。

1 製造業	2 建設業	3 卸売業	4 小売業
5 サービス業	6 その他()		

(2) 業歴

1 5年未満	2 5～10年	3 11年～20年	4 21年～30年
5 31年以上			

(3) 資本金

1 個人事業主	2 500万円以下	3 500万円超～1千万円以下
4 1千万円超～3千万円以下	5 3千万円超～5千万円以下	6 5千万円超～1億円以下
7 1億円超～	8 その他	

(4) 従業員（正社員）数（パート・アルバイトを除く）をご記入ください。

_____人

(5) 収益状況（直近の決算）

1 黒字	2 収支トントン	3 赤字
------	----------	------

問2 貴社の景況感について、回答できる範囲で、該当部分に☑チェックをご記入ください。

(1) 今期（前年同月比）			(2) 向こう3カ月の先行き見通し（今月比）		
1. 売上高	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 減少		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 減少		
2. 採算	<input type="checkbox"/> 好転 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 悪化		<input type="checkbox"/> 好転 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 悪化		
3. 仕入単価	<input type="checkbox"/> 下落 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 上昇		<input type="checkbox"/> 下落 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 上昇		
4. 販売単価	<input type="checkbox"/> 上昇 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 下落		<input type="checkbox"/> 上昇 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 下落		
5. 従業員	<input type="checkbox"/> 不足 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 過剰		<input type="checkbox"/> 不足 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 過剰		
6. 業況	<input type="checkbox"/> 好転 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 悪化		<input type="checkbox"/> 好転 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 悪化		
7. 資金繰り	<input type="checkbox"/> 好転 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 悪化		<input type="checkbox"/> 好転 <input type="checkbox"/> 不変 <input type="checkbox"/> 悪化		

問3-1 貴社の2023年度の採用（2023年4月～今年4月入社）の状況について、選択肢からお選びください。（複数該当する場合は全て）。※非正規社員とは、契約社員、パート・アルバイト、派遣社員を指します。

1：正社員を新卒採用した	2：正社員を中途採用した
3：非正規社員を採用した	4：募集したが正社員・非正規社員ともに全く採用できなかった
5：そもそも募集しなかった	
6：その他()	

問3-2 問3-1で採用した方にお聞きします。貴社の2023年度の採用における充足状況について、選択肢からお選びください。（複数該当する場合は全て）。

1：新卒採用の正社員を予定した人数確保できた
2：中途採用の正社員を予定した人数確保できた
3：非正規社員を予定した人数確保できた
4：新卒採用の正社員を予定した人数確保できなかった
5：中途採用の正社員を予定した人数確保できなかった
6：非正規社員を予定した人数確保できなかった
7：その他()

問3-3 問3-2で「新卒採用の正社員を予定した人数確保できなかった」「中途採用の正社員を予定した人数確保できなかった」「非正規社員を予定した人数確保できなかった」と回答された方に伺います。人材不足に対する今後の対応について、選択肢からお選びください。（複数該当する場合は全て）。

1：人材を確保できるまで採用活動を続ける	2：採用活動を諦める
3：デジタル化や機械の導入など生産性を高める方策の導入を検討する	4：生産量（受注数）を減らす
5：その他()	

問4 貴社の採用活動で通常、使用している媒体について、選択肢からお選びください。（複数該当する場合は全て）。

1：民間の人材紹介サイト	2：ハローワーク	3：人材派遣会社
4：知人の紹介	5：商工会議所の求人情報ページへの掲載	
6：その他()		

（コメント欄・・・以下の事柄等についてご意見や事例をお寄せください ※調査結果に掲載することがあります。）

① 経営への寄与や影響（賞上げの状況や来年度の見込み、原材料・エネルギー価格等のコスト増や価格転嫁、人手の過不足、最低賃金や時間外割増賃金の引上げ、物流2024年問題、インパウンド、消費税インボイス制度、祭事、天災、設備投資、生産・出荷・在庫、客数・客単価、公共工事・民間工事）

② 調査に関連する具体的な意見や事例

川口商工会議所では、景況調査を年6回程度で予定しております。回答率50%以上の会員事業所様には年度末に謝礼のクオカードをお送りいたしますので、ぜひアンケートへのご協力をお願い申し上げます。

以下の内容をご記入ください。（非公開内容となります。）

事業所名	
今後、希望するアンケートの受信方法	FAX ・ メール（いずれかに○をお願いいたします。）
メールアドレス（メールでご希望の場合）	

ご協力ありがとうございました。*回答いただいた内容につきましては、川口商工会議所の運営に活用させていただきます。
問い合わせ：川口商工会議所 総合政策課 (TEL:048-228-2220)

調査方法：FAX・メール・郵送による送付、FAX・Web（Googleフォーム）による回答
分析方法：売上高、採算、従業員、業況などについて、「増加」（好転など）と答えた企業から「減少」（悪化など）と答えた企業割合を差し引いたDI値を中心に分析
(DI:Diffusion Index)